

IAASBボード会議解説 (2022年3月)

IAASBのスケジュール(2021年～2023年)

プロジェクト名	2021年				2022年				2023年			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
LCE（複雑でない企業）の監査基準		ED							承認	PIOB		
監査証拠（ISA 500）					★		ED					
不正（ISA 240）				PP	★					ED		
継続企業（ISA 570）					★ PP				ED			
上場企業及びPIE（社会的影響度の高い事業体）	トラック1				★ PP	ED				承認	PIOB	
		トラック2									ED	
サステナビリティ情報の保証					★			PP				
CUSP（複雑性、理解可能性、適用の柔軟性及びバランス）						R						

※ PP：IAASBボードでのプロジェクト・プロポーザルの承認

ED: IAASBボードでの公開草案又はコンサルテーション・ペーパーの承認

承認：IAASBボードでの最終承認

PIOB：PIOBによる最終承認

R：ワーキンググループからの提案事項の審議

プロジェクトの概要

- 主に次の三つの観点からISA 500「監査証拠」の変更を検討している。

ア. テクノロジー

財務諸表作成における企業によるテクノロジーの利用及び監査人による監査手続の実施におけるテクノロジーの利用を踏まえた検討

イ. 情報

昨今の情報化社会において情報ソースが多様化及び情報量が増加しており、監査人が情報をどのように扱っていくかを検討

ウ. 職業的懐疑心

監査証拠に利用される情報及び監査証拠の評価における職業的懐疑心の強調

タイムライン

2020年12月
プロジェクト・プロポーザル承認



2022年3月
ボード審議



2022年9月
公開草案承認予定



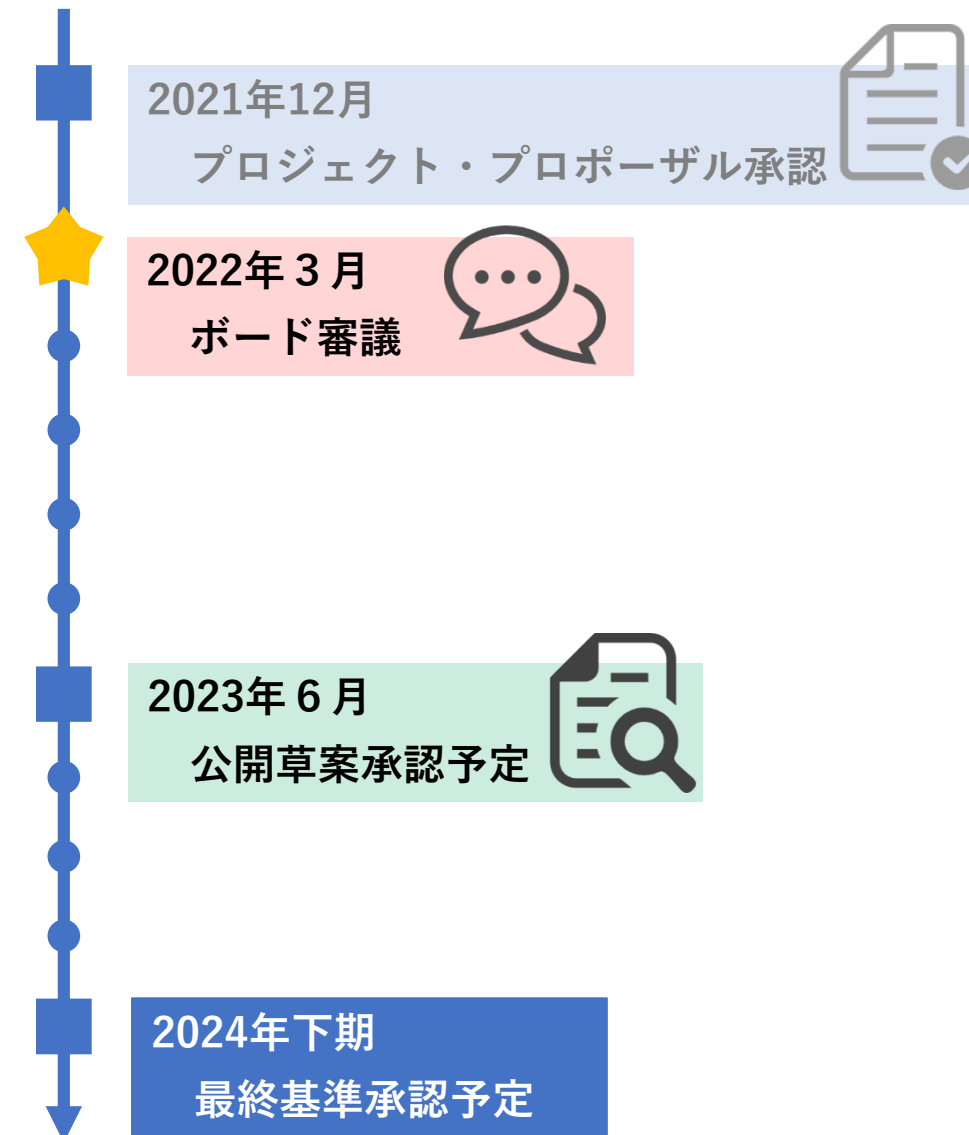
プロジェクトの概要

- 近年発生した様々な大型会計不正事件を受けて、一部の国では財務諸表監査における不正及び継続企業に関する監査人の役割及び責任について疑問が呈され、独自の対応が進められている。
- 2021年12月のボード会議において、プロジェクト・プロポーザル（PP）が承認された。

- PPで提案されているアクションの概要は以下のとおり。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ▶ 以下に関連したISA 240の強化及び明瞭化や規範性のないガイダンスの策定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務諸表監査における、不正に対する監査人の役割と責任 ・ 不正による重要な虚偽表示リスクの識別及び評価 ・ 評価した不正による重要な虚偽表示リスクへの対応 ・ テクノロジーの利用 ・ ISA 240と他のISAの関連性 ・ 不正に関連する特定の監査手続 ・ 職業的懐疑心 ・ 不正関連の手続の監査報告書における透明性 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ その他のアクション <ul style="list-style-type: none"> ・ 利害関係者との議論、ビデオやウェビナー等を通じて、不正に対処するには財務報告エコシステムの全ての利害関係者が役割を果たすことが重要であることを強調する。 ・ IESBA（国際会計士倫理基準審議会）、IFAC（国際会計士連盟）及びIPAE（国際会計教育パネル）と連携及び協力する ▶ 継続的なアクション <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のタスクフォース、ワーキンググループ及びコンサルテーショングループと協調する。 |
|--|---|

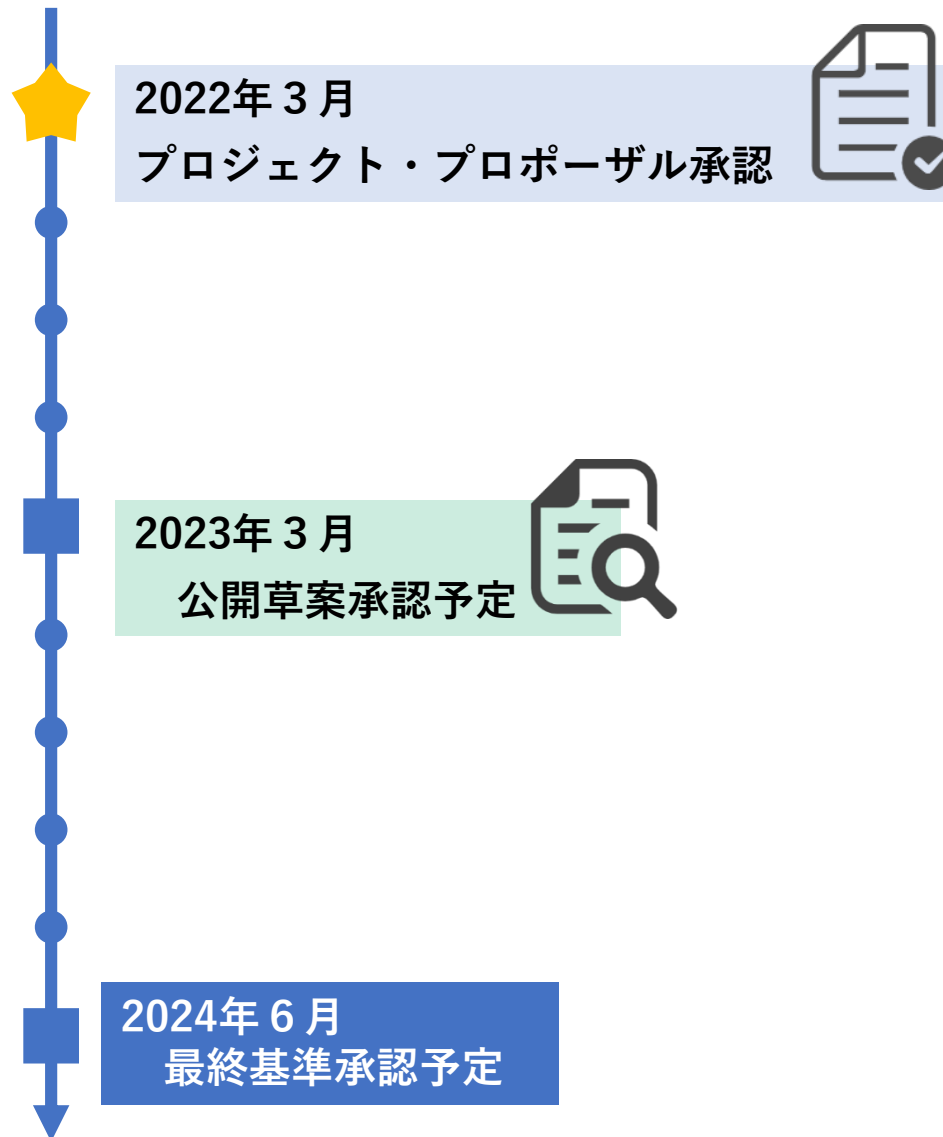
タイムライン



プロジェクトの概要

- 近年発生した様々な大型会計不正事件を受けて、一部の国では財務諸表監査における不正及び継続企業に関する監査人の役割及び責任について疑問が呈され、独自の対応が進められている。
- 2022年3月のボード会議において、プロジェクト・プロポーザル（PP）が承認された。
- 基準（ISA570（改訂））の包括的な改訂ではなく、ターゲットを定めた改訂を意図している。重要な論点として以下を識別している。
 - ・ リスクの識別と評価
 - ・ 継続企業の評価が行われる期間
 - ・ 企業外部のからの情報
 - ・ 用語
 - ・ 監査技術-テクノロジーの利用
 - ・ 継続企業の前提に関する経営者の評価
 - ・ 職業的専門家としての懐疑心
 - ・ 継続企業に関連する監査人の責任と業務に関する透明性

タイムライン



上場企業とPIE（社会的影響度の高い事業体）

プロジェクトの概要

- 国際会計士倫理基準審議会（IESBA）の「職業会計士のための国際倫理規程（国際独立性基準を含む。）」（IESBA Code)における「**上場企業(Listed Entity)**」及び「社会的影響度の高い事業体(Public Interest Entity)」という用語の定義を検討するプロジェクトが、2021年12月に終了
- IESBAのプロジェクトを受けて、上場企業に代わる「**公開取引企業(publicly traded entity)**」の定義及び改訂された「社会的影響度の高い事業体」の定義がIAASB基準へ与える影響を検討し、IESBA Codeとの収斂を達成するために、IAASB基準の限定的な範囲の修正を行うプロジェクト・プロポーザルを、2022年3月のボード会議にて承認した。
- 以下のように 2 トラックに分けて行う。

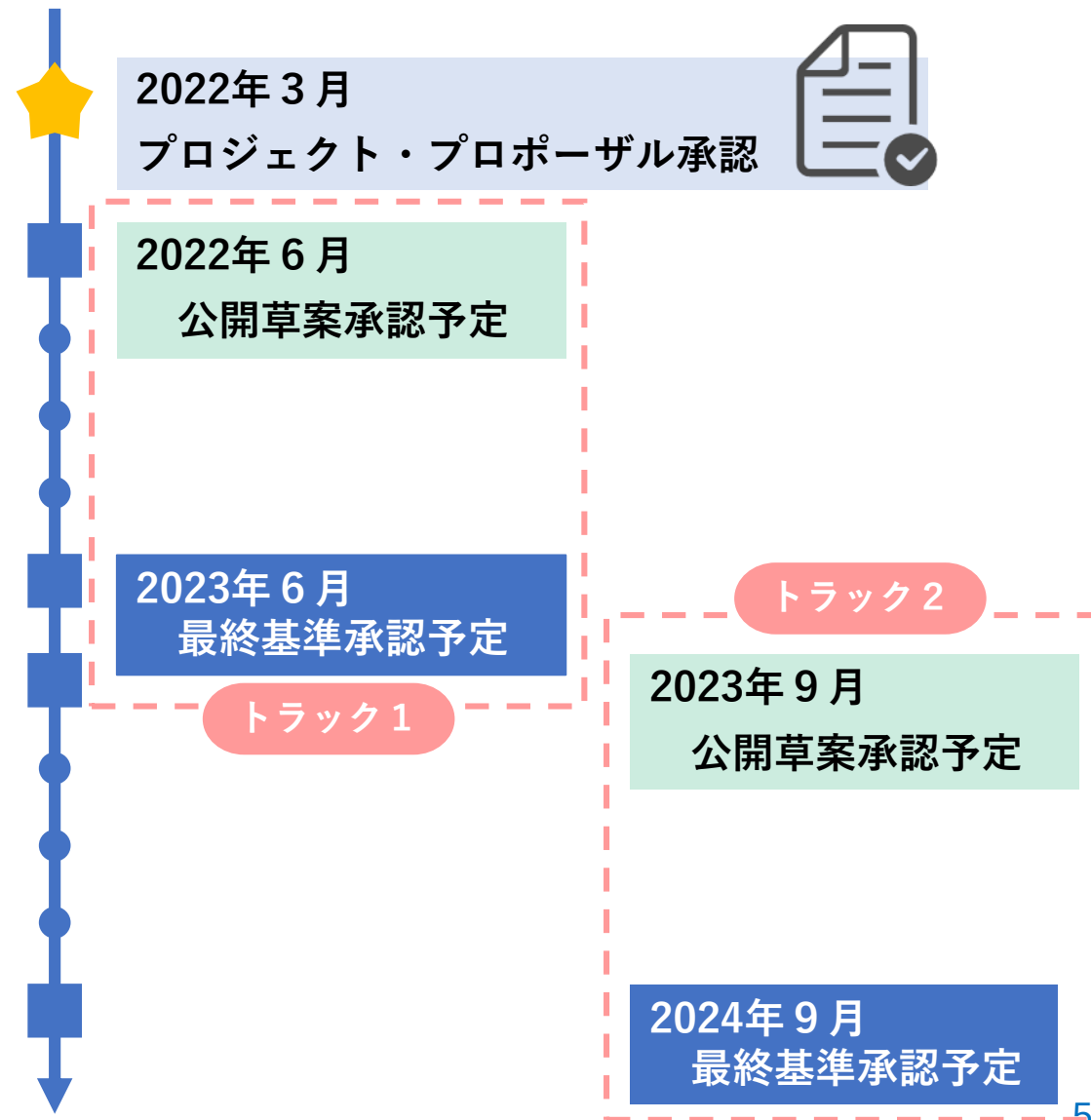
トラック 1

特定の事業体に関する独立性要求事項について、透明性を高めるために監査報告書が適切な方法かを検討することを目的とし、IESBAと整合的な適用日を設定し、短期間で実施する。

トラック 2

残りの課題に対応するもので、適用日は後になる。

タイムライン



サステナビリティ情報の保証

プロジェクトの概要

- サステナビリティ/ESG報告の保証に対する需要の高まりを受け、関連するIAASBの保証基準に関する検討が緊急に必要とされている。そこで、サステナビリティ/ESG報告の保証に関するプロジェクトがIAASBの2022年から2023年の作業計画に含まれた。
- 現在、今後のIAASBのアクションを決定するための情報収集及び調査活動が行われている。今後のIAASBのアクションの候補としては、現時点で以下が挙げられている。
 - ・ サステナビリティ/ESG報告（又はその側面）を対象とした、主題固有の新しい保証基準の開発
 - ・ ISAE 3000（改訂）の部分的な改訂
 - ・ その他（例えば、既存のガイダンスの改訂や、新しいガイダンスの作成）

タイムライン

2022年1月 リサーチ活動開始

2022年3月
ボード審議

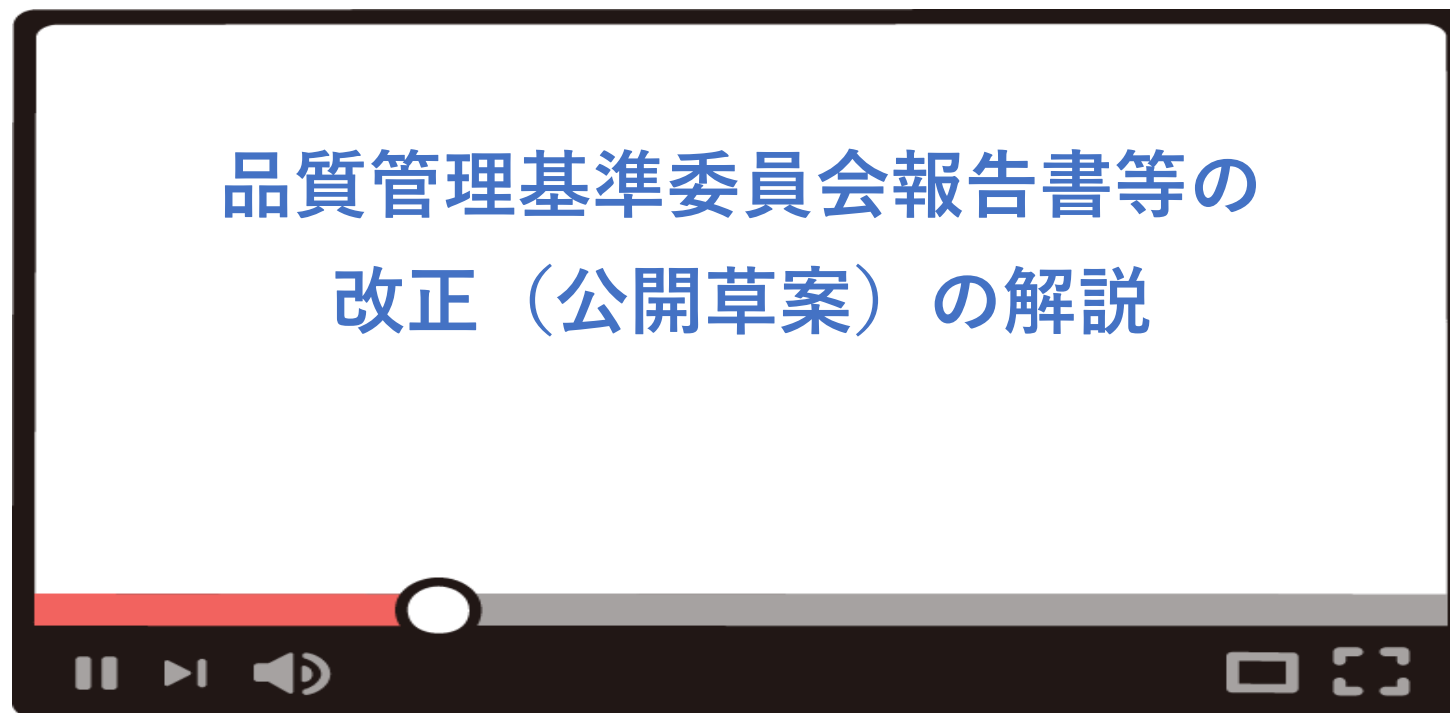


2022年12月
プロジェクト・プロポーザル承認予定



解説動画のご紹介！

以下の動画も公開中です！



Engage in the Public Interest

社会に貢献する公認会計士